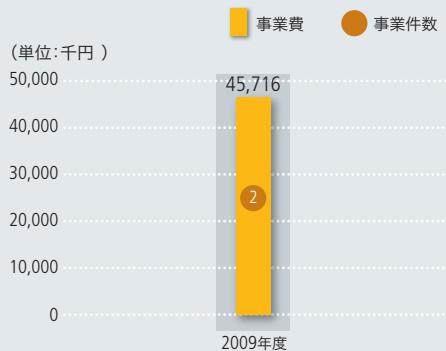


笹川中東イスラム基金事業

事業の詳細は▶

<http://www.spf.org/smeif-j/projects/summary2009.html>

本年度の事業費



※このグラフの事業費は概算です。

相互理解を深めるための情報発信、ペルシア湾の海洋安全保障の研究を支援

SPFの新しい基金として09年4月に活動を開始、相互理解を深めるための情報発信や人物交流を推進しました。09年度は、「日本・中東との相互理解のための情報発信」と、「ペルシア湾の海洋安全保障に関する専門家会議」の2事業を実施しました。

■事業一覧

区分	事業名	頁
2. 日本からの情報発信	NEW 日本・中東の相互理解のための情報発信	P41
4. 海洋安全保障に関する研究	NEW ペルシア湾の海洋安全保障に関する専門家会議	P42

ガイドライン

1. 日本からの情報発信

中東地域での日本のイメージは、インターネットが普及した現在もなお固定された古いイメージや一部のアニメーションを通じた印象に留まり、バランスを欠いています。本基金では、現在の日本の政治、経済、社会、文化に関する情報発信を行い、中東地域における現代日本の理解増進に努めます。

2. 人物交流

中東地域と日本との相互理解を深めるため、対象地域において各界で重要な地位を占めている人物や将来的に様々な分野で次世代のリーダーになる人物を日本へ招へいします。それに加えて、各専門分野における有識者や専門家、メディア関係者や若年層の交流など幅広い人物交流を行います。

3. 人材育成

政治、経済、社会、文化、教育などの分野において、日本と中東各国が協力し、新時代を先導する優秀な若手人材を育成します。これにより育成された人材が日本と中東との円滑な協力関係の促進に貢献することを目指します。

4. 海洋安全保障に関する研究

現在もなお石油をはじめとするエネルギー資源の大部分をペルシア(アラビア)湾岸周辺の中東地域に依存している日本にとって、安全かつ継続的・安定的に中東から日本への資源輸送路を確保することは最重要の課題です。対象地域や各国における安全保障の課題に関する調査研究を実施します。

笹川中東イスラム基金事業を設立 記念講演と祝賀会を開催

新しい時代の中東諸国と日本との関係づくりのために、
笹川中東イスラム基金を発足し、
09年5月28日に日本財団ビルで設立記念講演と祝賀会を開催しました。



記念講演を行った
小池百合子衆議院議員は、
「中東イスラム基金が中東と日本の
関係強化を推進する原動力となって
ほしい」と激励。

ワリード・アブデルナーセル駐日エジプト・
アラブ共和国特命全権大使による来賓のあいさつ



祝賀会の模様



笹川陽平日本財団会長によるあいさつ

●小池百合子衆議院議員講演、笹川中東イスラム基金 設立記念祝賀会の詳細は YouTube 内の当財団サイト (<http://www.youtube.com/user/spftv>) 参照。

日本・中東の相互理解のための情報発信

- ①事業実施者名/笹川平和財団 ②事業形態/自主・委託
- ③実施年度事業費/ 34,266,528円 ④実施年数/ 3年継続事業の1年目

アラビア語による 日本情報発信ウェブサイト構築

日本で中東・イスラム諸国駐日外交団向けセミナー、
中東専門家による中東情勢セミナーなどを開催するとともに、
アラビア語のウェブサイトを開発、相互理解を深めるための事業です。



アラビア語による日本情報発信サイト

本格的なアラビア語サイトの構築は国内初、
大きな意義が

アラビア語による日本情報発信サイト (www.alyaban.net) を立ち上げました。このアラビア語サイトを通じて、日本のニュース、ニュース解説、日本人の考え方や意見などを情報発信しました。

日本では、本格的なアラビア語サイトの構築は、初めてのことで。中東イスラム地域の人々は欧米メディア経由でしか日本に関する情報を入手するしかなかったためどうしてもバイアスが加わった情報になりがちでした。中東イスラム地域の人々が日本の情報をアラビア語で直接入手できるようになったことは大きな意義があります。



駐日中東イスラム諸国の外交官向けセミナーで講演する
花岡信昭・拓殖大学大学院教授
(09年4月28日)



- ※
- ①アミン・バフティアール博士(イラク共和国元大臣)講演会「イラクの現状と今後の展望」(09年12月9日)
 - ②サイド・ジャリリ博士(イラン国家安全保障最高評議会書記)講演会「イランの原子力利用の現状と課題」(09年12月22日)
 - ③アリ・ラリジャーニ博士(イランイスラム共和国国会議長)講演会(2010年02月25日)
 - ④ユースフ・ハッサン氏講演会「映像を通じて見た現代エジプトの社会生活」(2010年3月5日)



国内外で日本紹介セミナーを開催、
対日理解を深める

国内外で日本紹介セミナーを開催しました。駐日中東イスラム諸国外交官向けセミナーでは、駐日中東イスラム諸国の外交官(20名参加)に、花岡信昭・拓殖大学大学院教授が国内政治の動向に関する講演を行い、対日理解を深めることができました。

一方、中東からも専門家を招へいし、中東情勢セミナーも開催しました。イラク、イランのホットな情勢やエジプトの社会生活に関するシンポジウムを開催し、中東に関心のある専門家やジャーナリストの対中東理解に貢献しました。

また、日本情報発信セミナーとして09年11月、トルコのイスタンブール商工会議所で日本の観光業や経済について、浜田健一郎・ANA総合研究所代表取締役社長、井原健雄・北九州市立大学大学院教授が講演(約80名参加)しました。

続いて、トルクメニスタン国立大学でも、両氏が日本の観光開発と戦後復興について講演(約350名参加)するなど、日本・中東イスラム諸国の間の相互理解が深まる情報発信を行いました。

ペルシア湾の海洋安全保障に関する専門家会議

①事業実施者名／笹川平和財団、財団法人 平和安全保障研究所(日本) ②事業形態／自主・委託
 ③実施年度事業費／11,449,688円 ④実施年数／単年度事業

研究会を開催し、 研究ネットワークを構築

ペルシア湾の海洋安全保障に関する研究を始めることで、日本の貢献可能な分野は何かを明らかにし、日本・米国・湾岸諸国間の研究ネットワークを構築しました。

不足していた、同地域の安全保障や日本の役割についての研究

日本が石油の80%余りを湾岸諸国から輸入していることから分かるように、ペルシア湾の海洋安全保障は、日本のエネルギー安全保障にとって重要です。しかし、日本の中東専門家はペルシア湾の安全保障に関心が少なく、安全保障の専門家にもペルシア湾の安全保障を専門とする人がいませんでした。

そのため日本のエネルギー安全保障上重要でありながら、ペルシア湾の海洋安全保障についての研究はされてきませんでした。日本では、同地域の安全をいかにして高めるのか、日本の役割は何であるのかに関する議論も知見も著しく不足していました。

日本・米国・湾岸諸国間の安全保障専門家のネットワークを構築

本事業では、安全保障の専門家や実務家が参加する研究会を東京で開催し、外部から専門家を講師として招きペルシア湾の海洋安全保障上の課題を明らかにしました。

さらに、研究会での議論の結果を受けて、09年11月3日～4日にバーレーンで日本・米国・湾岸諸国の安全保障専門家約20名が参加する国際会議「湾岸地域における日本の役割」を開催しました。

この国際会議を通じて、日本・米国・湾岸諸国間の安全保障専門家のネットワークを構築しました。会議の成果として、ペルシア湾の海洋安全保障における日本の協力の可能性を明らかにしたものを、国内・国外に発信しました。

● 担当研究員コメント



ウェブサイト、海洋安全保障の研究、人物交流を開始

特別基金事業室 笹川中東イスラム基金事業担当 主任研究員
松長 昭

中東イスラム基金は、09年4月に発足した新しい基金ですが、ガイドラインに沿った事業を次のように実施しています。

第1に日本の情報発信として、ウェブサイト www.alyaban.net を開設。アラビア語による日本のニュース、日本人の意見、アラブ人の日本観などを盛り込みました。日本人の専門家をトルコに派遣し、日本経済や観光開発について、トルコ人実務家への講演会も開催しました。

第2に中東海洋安全保障の研究。日本にとり重要なペルシア(アラビア)湾の海洋安全保障について、日本・中東諸国・米国から安全保障、エネルギー問題、政治、経済などの

専門家が参加した国際会議をバーレーンで開催しました。国際会議での議論を通じて日本の国際協力や貢献の可能性について明らかにしました。

第3は人物交流。イラクの元大臣やエジプトの映画監督を招へいし、中東に関心のある研究者、ジャーナリスト、実務家に向けた講演会を開催し、中東に対する理解を深めることに寄与しました。

中東イスラム基金は、中東イスラム諸国と日本の相互理解を深めていくため、必要な情報を収集し、現地のニーズに応じた事業を実施していきます。